

～新しい支所・公民館は 和田エリア(埜・夏切)での整備を最優先に検討します～

平成29年10月12日(木)18時30分から、和田公民館において、公共施設再配置 和田地域モデル事業の3回目の話し合いを行いました。

前回確認した、和田地域の現状・課題や地域の将来像を踏まえ、新しい支所・公民館を整備する候補エリアの決定を議題として、グループワークによる意見出し・発表を行い、全会一致で和田エリア(埜・夏切)を整備する第1候補として決定しました。

これまでの経緯と今回の協議

前回(第2回、8月3日実施)の話し合いでは、市からは、公共施設の一覧や人口推計などを示す中で、データから見る和田地域の姿について説明しました。

一方、プロジェクトWからは、平成28年度に策定された「和田地区 虹色☆夢プラン」について、策定過程で実施した集落点検も含めて夢プランの内容を説明していただき、地域の皆さまが考える和田地域の現状と課題、目指す将来像を示していただきました。

お互い発表した内容により、モデル事業に必要な「地域の現状と課題」及び「地域の目指す方向性」を確認することができました。

今回は、新しい支所・公民館を整備するには、「高瀬」「和田(埜・夏切)」「米光」「馬神」のどのエリアが適しているかということの絞り込みを行いました。

グループワークでの意見出し

地域の拠点となる施設を整備するエリアの候補という重要な事項でもあることから、参加されたプロジェクトW委員の皆さんから、率直かつ幅広い意見を数多く出してもらう方法としてグループワーク形式を取り入れて協議を行うことにしました。今回は、プロジェクトW委員の皆さんが年代順に3つのグループに分かれ、それぞれ付箋に自分の意見を書き出し、大判用紙に貼り付ける作業を行い、考えを見える化していく作業です。



具体的には、行政区などから和田地域を大きく4つのエリア(「高瀬」「和田(埜・夏切)」「米光」「馬神」)に分け、今の支所・公民館が建っている場所から、高瀬エリア、米光エリア、馬神エリアに移った場合、どのようなメリット(利点)・デメリット(不利な点)が考えられるのか、また、和田エリアに残った場合はどうかなど、参加者には日々の生活や地域活動などに携わる中での率直な意見を出し合っていました。

考えるポイントとして、公共施設の再配置、それも地域の拠点施設ということで、「施設利用にあたって危険はないか。安心・安全に使えるか」「新しい支所・公民館の整備に伴い、集約化・複合化できそうな施設などはないか」「地域全体への影響や生活上の利便性などはどうか」などの視点から協議していただきました。

どの班も書き出し作業、話し合いとも熱心に進み、議論の終了後、各班ごとにどのような意見や議論がなされたのか発表していただきました。

(作業での主な意見は次のとおりです)

	視点	メリット	デメリット
高瀬	安全性	<ul style="list-style-type: none"> ・ダムがあるから安全 ・安全性に関しては、どの地域エリアにも安全な場所を探せばあるので問題なし 	<ul style="list-style-type: none"> ・河川の氾濫
	複合化	<ul style="list-style-type: none"> ・高瀬サン・スポーツランド、高瀬集会所、高瀬消防団機庫が複合化しやすい ・駐車場等に可能な場所がある ・施設の複合化により地域の活気につながる ・お茶・こんにゃくなど直売所が併設できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光で開発されており、土地のスペースが無い
	利便性	<ul style="list-style-type: none"> ・観光シーズンで和田をPRできる ・名が通っている ・景観が良い ・自然の中でまさに和田 ・観光地・スポーツ施設がある ・施設が集約されている ・グラウンドがある ・広場がある ・資源がある(観光・特産品) ・他地区から来るのに分かりやすい ・外からの人の通り道 ・協力的な人が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ・米光、馬神から遠くなる ・米光・馬神の人は高瀬・和田には来にくい ・北部に位置し利便性が低い ・利便性を考えると市街地から離れすぎている ・中心に遠く人が集まりにくい ・一番奥 ・雪が多い ・地元住民が行きにくい ・駐車スペースが少ない
和田(埜・夏切)	安全性	<ul style="list-style-type: none"> ・現在地は河川災害の危険性が少ない ・交通事故の恐れは少ない=交通量自体が少ない ・国道に面しては安全 ・安全性に関しては、どの地域エリアにも安全な場所を探せばあるので問題なし 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害に弱い ・防災的に× ・橋が古く65年経っている ・支所公民館に入る道路が狭い ・国道に出る道が狭い ・現在の場所では土砂災害等の危険性が高いのが心配 ・土砂が気になる ・土砂、洪水の危険性大
	複合化	<ul style="list-style-type: none"> ・用地の確保ができる ・空き地が多い ・小中学校と複合化で効率的 ・小中学校の利活用ができるのでは ・和田小中学校、郵便局、複合化しやすい。公共施設再配置有力 ・複合化しやすい(学校) ・教育は地域の将来を担う人を育てる、地域づくりの核。学校に近い場所への設置が最重要 	
	利便性	<ul style="list-style-type: none"> ・昔からの中心部として発展した ・住民の意識は強い ・高齢者の集まり(敬老会・ふれあい会食会・あけほの学級)が中心部で開催が容易 ・和田地域の中心部 ・和田地区のほぼ中心にある ・公共施設が集まっている ・集まりやすい ・学校・郵便局に近い。中心的役割をしている ・和田地域の地理的な事を考えると、和田が中心的な場所で良い ・郵便局、地域、金融の柱 ・学校との関係で社会教育の地域的核とないうる ・小学校との連携がしやすい印象 ・学校が近い ・学校が駐車場になる 	<ul style="list-style-type: none"> ・目立ちにくい ・米光・馬神の人は高瀬・和田には来にくい

	視点	メリット	デメリット
米光	安全性	<ul style="list-style-type: none"> ・土砂災害はないかも ・安全性に関しては、どの地域エリアにも安全な場所を探せばあるので問題なし 	<ul style="list-style-type: none"> ・島地川沿いで防災上疑問 ・地形が低い ・狭い ・アクセスする道が狭い ・道が狭い(中の道) ・銀座通りが狭い
	複合化	<ul style="list-style-type: none"> ・広い土地が多い ・老人憩いの家、郵便局複合施設、複合化しやすい 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設設置場所の確保が難しい ・新しくまとまった土地を求めないといけない ・現有の公共施設が少ないので、連携的な施設をつくるのは難しい
	利便性	<ul style="list-style-type: none"> ・地区の人口が集中している ・人口が多く利便性あり ・住宅団地、企業団地として開発された ・和田地域の住民が集まっている ・団地、福寿荘、つくし園などがあり人が多い ・人が多いので利用しやすい ・平たい ・新しい家が多い ・国道 376 号 489 号の接合部 ・国道 376 号北側に有効な土地がある ・国道 376 号で交通量が多い ・幹線道路が通っている ・国道と見はらし ・他地域の影響はない ・他地区からはあまり支障ないかも 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校から遠い ・広場が無い ・イベントの連携は×
馬神	安全性	<ul style="list-style-type: none"> ・洪水が少ない ・大きな川が無いので災害の恐れがない ・安全性に関しては、どの地域エリアにも安全な場所を探せばあるので問題なし 	
	複合化	<ul style="list-style-type: none"> ・面積が広い ・公共施設、集会所、場所確保が容易 ・馬神多目的広場など市有地の活用ができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・農振地域で農業が中心(圃場整備)
	利便性	<ul style="list-style-type: none"> ・他地域を結ぶ位置にある ・戸田にあるスーパー・ナフコに近い ・和田地区外から短時間で来られる ・馬神に行く用事ができる ・広くいい道が多い ・馬神はいいところ ・外からアクセスしやすい 	<ul style="list-style-type: none"> ・高瀬から遠い ・馬神エリアは地理的な関係で中心としては不可 ・和田全体から見ると遠い場所となる ・公共関連施設が少ない ・他の地域の人は行きにくい ・広場が無い



新しい支所・公民館の設置エリアの優先順位を決定

意見の発表を踏まえ、プロジェクトW委員の皆さんに投票用紙を配り、4 エリアのいずれが支所・公民館の設置エリアとして適しているか、投票を行い、第2 候補まで決定しました。

その結果、和田（埜・夏切）エリアが全ての票を集めて第1 候補に選ばれました。同様に多数の票を得て米光エリアが第2 候補として選ばれました。

今後は、和田エリアに新しい支所・公民館を整備することを前提として、併せて、和田地域の公共施設再配置について検討してまいります。

今後の協議等について

次回は「各エリアの他の公共施設の集約化に向けた検討」と題して、和田地域の公共施設を対象に、今後の方向性について考えていく予定です。

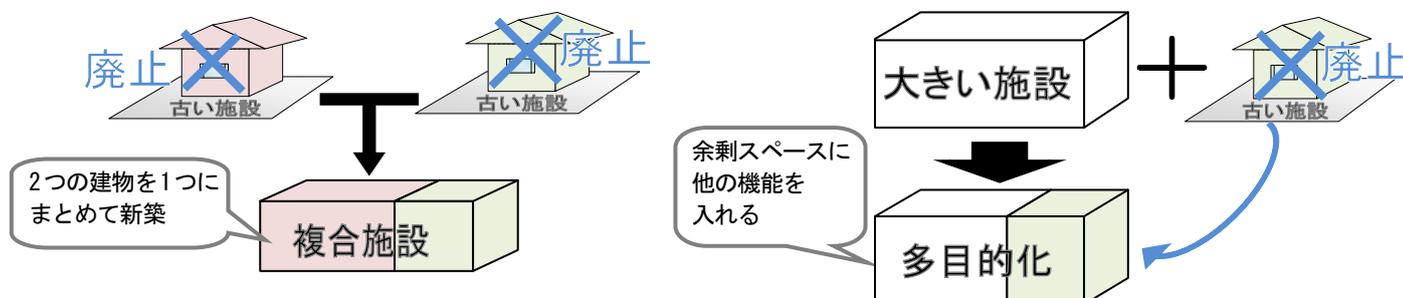
新しい支所・公民館の整備エリアも優先順位が決まり、今後はさらに具体的な場所や機能の話について協議を進めてまいります。その検討材料として、また、和田地域全体の公共施設のあり方を考えるという観点からも、今の和田地域の全ての公共施設について、集約化や複合化などが検討できないかを考え、整理していく必要があります。

このテーマについては、各施設の利用者の方々はもちろん、施設の利用に関心を持たれている方々、施設近隣にお住まいの方々など、より幅広く意見を集めていくことが重要であるとの認識から、プロジェクトWに限定せず、地域の皆さまから意見を募りたいと考えています。

実施の方法としては、プロジェクトW委員が中心となり、直接聞き取って取りまとめていただきます。

今月11 月中には、各プロジェクトW委員等から「公共施設の集約化[※]」に関するアンケートの依頼があると思いますので、声を掛けられた皆さまにおかれましてはご協力よろしくお願いいたします。

【※公共施設の集約化のイメージ】



公共施設の再配置は、今ある公共施設をこのままの規模で維持・更新していくためには、費用が足りないため、施設の使い方を工夫したり、建て替えの際等に提供しているサービスを一箇所に集約し、建物の床面積を削減する等して、不足する更新費用の解消に取り組むことを目的としています。